



専門新聞写真コンクール特報

発行日 平成9年10月16日(木)
 発行所 社団法人日本専門新聞協会
 〒110 東京都港区虎ノ門1-2-12 第2四角ビル
 発行部 社団法人日本専門新聞協会
 〒110 東京都港区虎ノ門1-2-12 第2四角ビル
 編集 社団法人日本専門新聞協会
 〒110 東京都港区虎ノ門1-2-12 第2四角ビル
 印刷所 株式会社 ジャーナルプレス
 〒110 東京都台東区上野1-2-1

第8回

平成9年度の入選・秀作計17点決まる

社団法人日本専門新聞協会主催、平成9年度第五回新聞週刊「専門新聞写真コンクール」入選作決定の審査結果は、九月十六日(金)に東京・港区虎ノ門の日本専門新聞協会会議室で開かれた。審査委員長は、本年度応募作品の総数は、四百一点で、審査委員は、日本写真家協会審査委員野田日出男先生を委員長とする。開会式は江成常夫先生、岡田昭生先生の二人が主催。

成賞として審査を委ねられました。審査委員長は、審査したときの結果、別表のとおり文部大臣奨励賞、協理理事長賞、審査委員長賞三点を、十四席を秀作と決定されました。秀作審査委員長、江成、関口委員から高橋協理長に対して、特報掲載面に掲載していただいた審査委員長を謝りました。

文部大臣奨励賞

『旧登米高等尋常小学校』 伊藤 邦彦(建設新聞社)



『多くの新人の入賞が心強い』



高橋理事長

今年の応募作品は昨年を六高
 上回る四百一点でありました。
 本年の特目としてあげられた
 のは、新人が多く入賞されたこ
 とです。新人が入賞されたこと
 は、文部大臣奨励賞を受賞された五
 設新聞の伊藤さんの作品は平成五
 年度の理事長賞受賞作であり、

昨年の秀作ですが、この方は主題
 の選択が明確だとわがわがいま
 理事長賞を受賞された日本工業
 経済新聞の前々々、常任委員田
 貴志さんによる新聞新聞の原田
 さんのもも最近メアツの原田がア
 ヲンパターを押さけていた。たが
 めには、自分なりにテーマを考え
 て作品化する努力が必要ではない
 でしょうか。

社団法人日本専門新聞協会
 理事長 高橋 時春

審査員を多く見習う」とい
 る。かたがたのなか、田村氏の活
 又と出た作品も、自分なりの活
 五委員の先方のなかで、そのか
 数多い作品の中に主題の出入
 間と動物されるだけに、時時
 鋭気を生かされる努力とテーマの
 切なようです。

毎年新人が数多く入賞される
 ところが、このコンクールの果たす役
 と心強く感じる次第であります。

平成8年度(第8回)「専門新聞写真コンクール」 入選・秀作・招待作品一覧

(平成9年9月26日決定) 主催 社団法人日本専門新聞協会

賞名	作品名	氏名
文部大臣奨励賞	『旧登米高等尋常小学校(組写真)』	伊藤 邦彦
日本専門新聞協会 理事長賞	『親友』	浦野 芳明
審査委員長賞	『高校生現場見学会-重信を導く高校生-』	富田 稔
秀作	『パレード(第29回銀座祭)にて』	石井 謙宏
『250度の熱い湯』	井上 光浩	
『旅 贈』	今井 常克	
『ホクラ野探検隊』	菊池 隆子	
『最終巻』	小瀬川 厚	
『葉月 辰-神田駅6番線ホーム』	後藤 昌司	
『駆る若い力』	斎藤 豊樹	
『危険な出陣(ソウル)』	坂元 隆介	
『防災訓練』	佐々木 健	
『車いす体験』	沼澤 美和	
『はじめての遠足(組写真)』	所木 芳雄	
『5月の天候路』	藤木 洋	
『ピチオ撮影』	松井 清	
『台風の余韻』	渡辺 郎男	
招待作品	『ねぶた(青森県)』	蓮見 静子
『羽黒山の年明け』	浅野 烈	
『海岸散歩(組写真)』	十文字 義之	
『ライジンク・サン』	原又 時彦	
『So much in Love』	佐藤 一彦	
『夢』	白子 和宣	
『お母さん必死、ホク知らない』	貞松修二郎	

*は審査の結果、特報掲載およびパネル展示を割愛します



『親友』 浦野 芳明(日本工業経済新聞社)



『高校生現場見学会-重信を導く高校生-』 富田 稔(建設新聞社)



『二五〇度の熱い道』
井上 光浩 (経済新聞社)



『パレード (第29回銀座祭にて)』
石井 謙安 (金融タイムス社)



『最終砦』
小瀬川 厚 (物流ニッポン新聞社)



『残照』
今井 常克 (東京交通新聞社)



『ボクラ貯留槽探検隊』
菊池 隆子 (環境新聞社)



『葉月尽…神田駅6番線ホーム』
後藤 昌司 (金融タイムス社)



『駆る若い力』
斎藤 直樹 (福島建設工業新聞社)



『はじめての遠足』

房本 芳雄 (日本教育新聞社)



『台風之余韻』

渡辺 節男 (国際農産社)



『車いす体験』

沼澤 美和 (日本教育新聞社)



『五月の天城路』

藤本 洋 (ドラッグマガジン)



『危険な出前(ソウル)』

坂元 陽介 (日本教育新聞社)



『防災訓練』

佐々木 健 (物流ニッポン新聞社)



『ビデオ撮影』

松井 清 (日本工業経済新聞社)

招待作品欄

過去に文部大臣奨励賞を受賞された方々の新作品



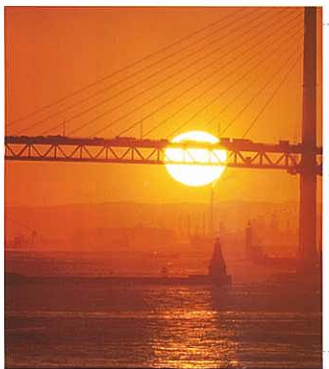
『ねぶた(青森県)』
運見 静子 日本教育新聞社



『羽黒山の年明け』
浅野 烈 日本教育新聞社



『海岸散歩』
十文字 義之 (日本流通新聞社)



『ライジング・サン』
勝又 時彦 東京交通新聞社

協合理事長賞は
画面構成が抜群

協合理事長賞は、画面構成が抜群で、作品の美しさが目立ち、見る者の心を捉えています。また、色彩の使い方も非常に巧みで、全体の印象を大きく左右しています。



菅生委員 江成泰夫

自分の個性と意志
でシナリオを
描き、その表現も
非常に力強い。画面
構成も非常に巧みで、
見る者の心を捉え
ています。



菅生委員長 芳賀日出男

この作品は、作者の思いがこめられており、見る者の心を捉えています。また、色彩の使い方も非常に巧みで、全体の印象を大きく左右しています。



菅生委員 関口照雄

この作品は、作者の思いがこめられており、見る者の心を捉えています。また、色彩の使い方も非常に巧みで、全体の印象を大きく左右しています。

評

文部大臣奨励賞は

セピア仕上げの手作り作品

評者委員長賞は、画面構成が抜群で、作品の美しさが目立ち、見る者の心を捉えています。また、色彩の使い方も非常に巧みで、全体の印象を大きく左右しています。

この作品は、作者の思いがこめられており、見る者の心を捉えています。また、色彩の使い方も非常に巧みで、全体の印象を大きく左右しています。

入選者のコメント
この作品は、作者の思いがこめられており、見る者の心を捉えています。また、色彩の使い方も非常に巧みで、全体の印象を大きく左右しています。



菅生委員 日耳新聞 浦野 芳明

この作品は、作者の思いがこめられており、見る者の心を捉えています。また、色彩の使い方も非常に巧みで、全体の印象を大きく左右しています。



協合理事長賞のアーブルに並べられた招待作品を、ひとっつりと熱心に審査する先生方。右奥から手前へ芳賀日出男委員長、江成泰夫委員、関口照生委員。